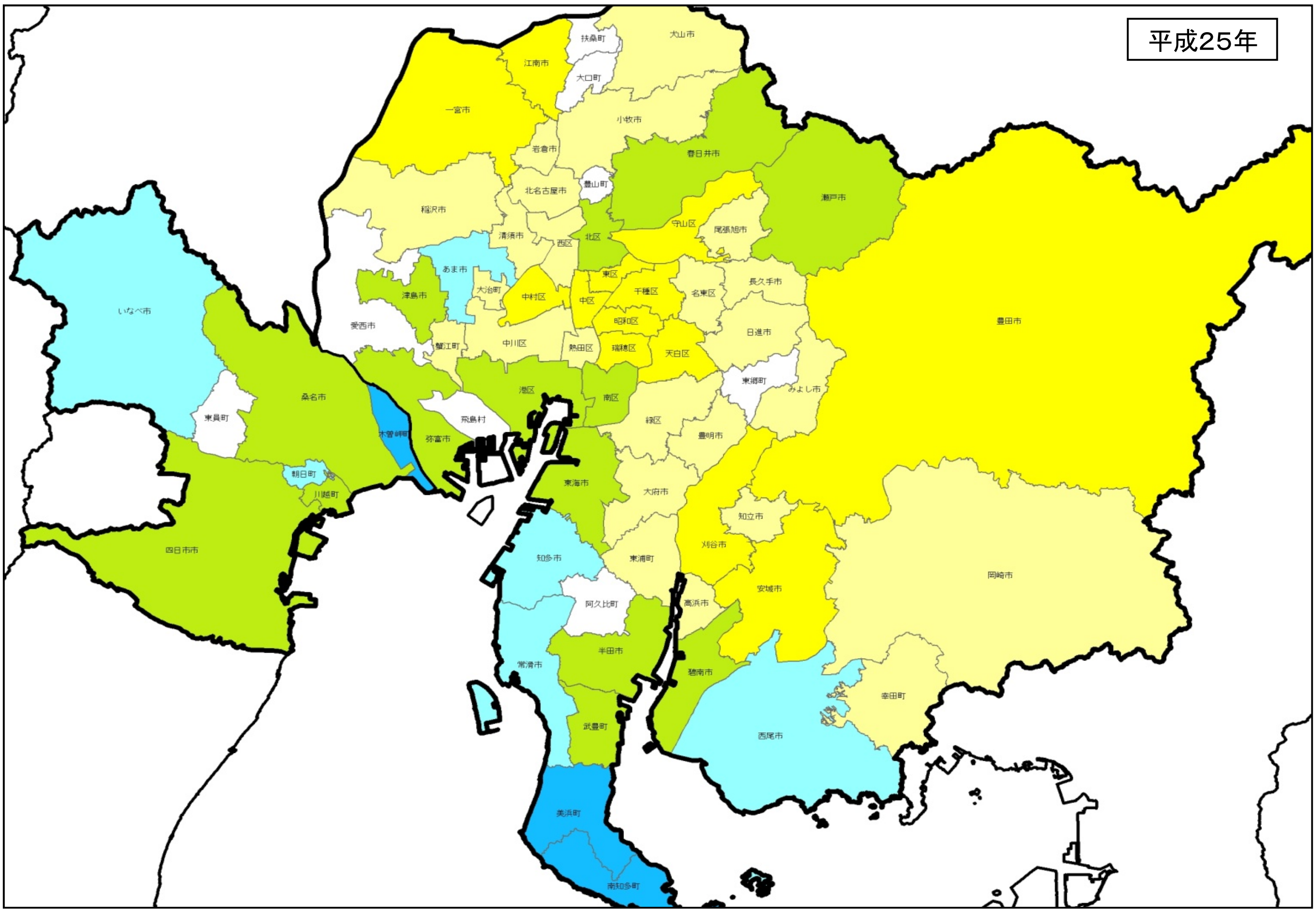
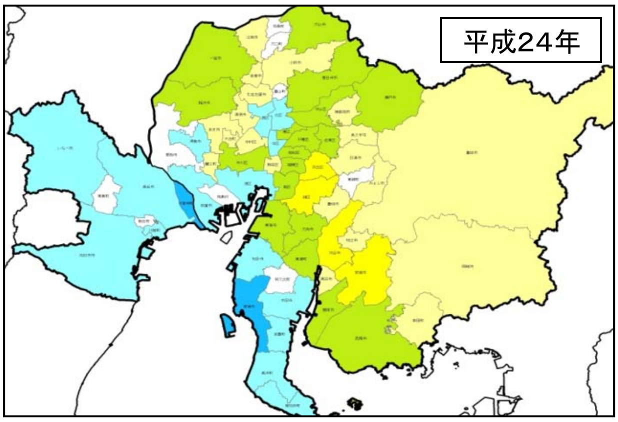
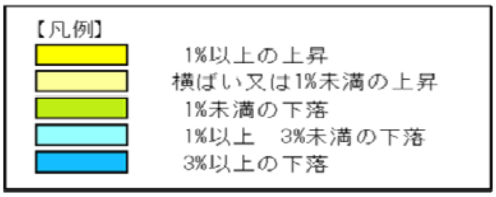
６．名古屋圏の商業地

名　古　屋　市・	全体で 1.7%上昇（前年▲0.4%）。名古屋駅周辺では複数の大規模な開発計画が進行中であり、希少性の高い優良物件に対する需要が強まっている。また、桜通沿いや栄駅周辺、金山駅周辺等についても優良物件に対する需要が強まっている一方、供給は限定的であり、さらに値頃感も加わって地価は上昇基調となっている。
・	その他地域では、駅への接近性に優れるなど利便性や繁華性の高い地点を中心に需要が強まり、上昇となった区が見られる。
名古屋市以外・	西三河地域は、地域経済が好調であり、飲食店等に係る需要が増加傾向にあり地価は上昇基調となっている。特に刈谷市 3.3%上昇（前年 1.8%上昇）、安城市 2.9%上昇（前年 1.1%上昇）と高い上昇率となった。